



ヴィノテーク No.482

今回、二度目となるイスラエルワインの選出(赤は初)。イスラエルは約22000km<sup>2</sup>、日本の四国ほどの面積で、主要産業は鉱工業(ダイヤモンド研磨加工など)と農業(かんきつ類や野菜の栽培など)と外務省のウェブサイトで紹介されている。渡航中止勧告が出ている地帯を内包する国でもある。ワインがその国の事情を思い起こすきっかけとなるのもいい。

ヴィノテーク  
**ワイン・バイイング・ガイド**  
 田崎 真也セレクトション Vol. 164

Vinothèque WINE BUYING GUIDE SELECT AND COMMENT BY Shinya TASAKI

17.5 /20

ヴィニョブル・マリー・マリア・  
 アルジロ、カーヴ・ド・クルゼイユ

カーヴ・ド・クルゼイユはフランス南西部、マディラン村に近いクルゼイユ村に位置する、1950年創設の協同組合。130人の栽培家(計約660haの畑)が加盟し、マディランACの生産量の35~



Vignobles Marie Maria Argilo 2016  
 Madiran AC Cave de Crouseilles

FRA 14% V742

マディラン / タナット /  
 3960円

飯田  
 ☎072-923-6244



40%を占めるワインを生み出しているという。当ワインは、マディラン村に位置する2.45haの単一畑のタナット100%から。標高170~200m、西-南西向きの急斜面、粘土石灰質土壌、樹齢20年余の畑。マリー・マリアは、特に優れたテロワールとガストロノミーにこだわり立ち上げたブランドという。色調は紫を含む濃いガーネット。香りは芳醇で凝縮感があり、ブラックチェリーやブラックベリーのような黒系果実、野ばらの花にロースト香、甘草や丁子、黒こしょうなどのスパイス、鉄様のミネラルなどの香りが調和。まろやかな果実味から、しっかりとしたタンニンや酸味が広がり、余韻まで持続する。